

はあとのあと

“心を綴ったノート” “心が奏でる音”

珠洲市総合病院

TEL (0768) 82-1181

FAX (0768) 82-1191

2015(2)

第38号



撮影者：濱木 満喜

病院理念

“市民の心の支えとなる、地域の中核病院に”

1. 疾病の予防から在宅医療までの一環した体制の確立を目指します。
1. 安心と信頼の地域医療を目指します。
1. いたわりの心で皆様の健康と命を守ります。

目次

- | | |
|-------------------------------|---|
| • COPD（慢性閉塞性肺疾患） | 1 |
| • 医療ソーシャルワーカーの仕事って？ | 2 |
| • 毎朝玄関や受付機の前に立っている職員は何をしているの？ | 3 |
| • 病院からのお願い | |
| • 4月からのニューフェイス | 4 |

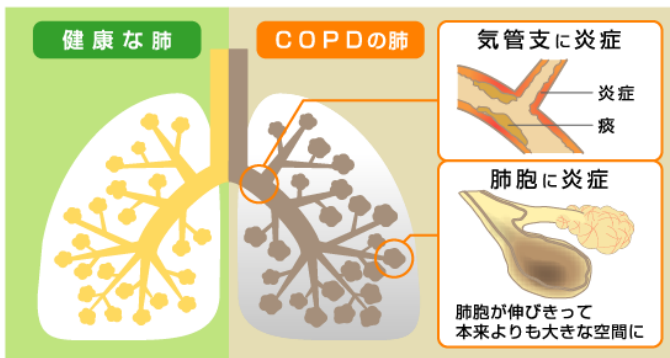
COPD（慢性閉塞性肺疾患）

内科医長 川崎 靖貴



COPD(chronic obstructive pulmonary disease；慢性閉塞性肺疾患)とは、慢性の咳と痰、労作時の息切れを主症状とし、肺気腫や慢性気管支炎が種々の割合で合併することがいわれています。原因のほとんどはタバコ

で、タバコの煙等有害物質を長期に吸入暴露することによって、肺に進行性の気流制限を呈します。日本では、40歳以上の530万人(8.5%)の潜在患者がいると言われていますが、重症化してから初めて見つかることもあり、国の統計によると平成25年には16,443人がこれにより死亡し、死亡原因の9位となっています(男性8位)。



当初は無症状ですが、進行していくにつれて咳や痰がみられることが多いです。重症化すると呼吸不全を引き起こし、肺炎や気管支炎をおこしやすくなります。

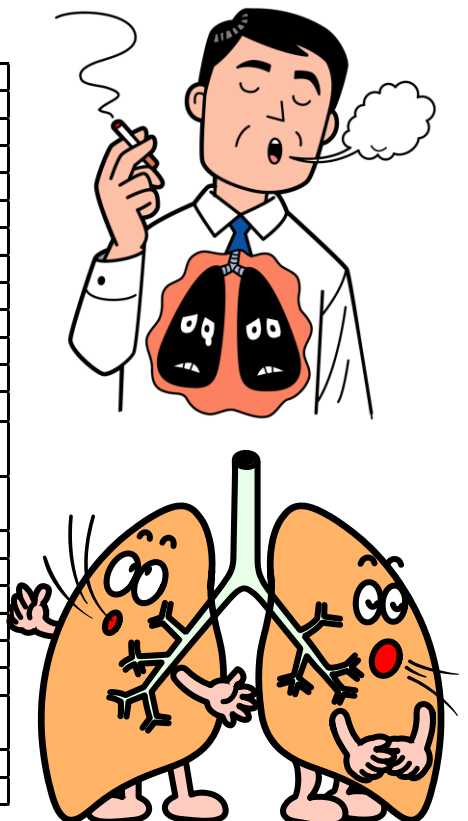
確定診断にはスパイロメトリー(呼吸機能検査)が必須で、その他画像所見(胸部X線写真、胸部CT)をあわせて診断されます。

すでに生じた肺泡破壊病変を修復するような根治的な治療法がなく放置されることもありましたが、現在は治療可能な疾患であるとの概念が浸透してきています。新たな薬剤開発や呼吸リハビリテーションの発展と普及によって、現在ある状況を可能な限り改善し、それを維持し、長期的な悪化を可能な限り最小限にとどめていくのが、現在の基本的な治療法です。治療の原則は危険因子を積極的に減らす、禁煙です。また、合併症の予防目的にインフルエンザワクチンや、肺炎球菌ワクチンの接種が勧められます。その他薬物療法や、呼吸リハビリテーション、酸素療法、外科療法が重症度に応じて選択されます。

重症以上の患者さんは息切れのため日常生活が大きく制限され、社会的・経済的な支援が必要となることが多く、利用できる社会保障制度として、介護保険と身体障害者福祉法(身障法)がありますので、一度専門医を受診し、評価を受けるようにしましょう。

下記に質問票を示します。これで17点以上だと慢性閉塞性肺疾患の可能性ががあります。

No.	質問	選択肢	ポイント
1	あなたの年齢はいくつですか？	40-49歳	0
		50-59歳	4
		60-69歳	8
		70歳以上	10
2	1日に何本くらい、タバコを吸いますか？ (もし、今は禁煙しているならば、以前は何本くらい吸っていましたか？) 今まで、合計で何年間くらい、タバコを吸っていましたか？ 1日の喫煙箱数=1日のタバコ数/20本(1箱入数) Pack・year=1日の喫煙箱数×喫煙年数	0-14Pack・year	0
		15-24Pack・year	2
		25-49Pack・year	3
		50Pack・year以上	7
3	あなたの体重は何キログラムですか？ あなたの身長は何センチメートルですか？ BMI=体重(kg)/身長(m) ²	BMI<25.4	5
		BMI 25.4-29.7	1
		BMI>29.7	0
4	天候により、せきがひどくなることがありますか？	はい、天候によりひどくなる場合があります	3
		いいえ、天候は関係ありません	0
		せきは出ません	0
5	風邪をひいていないのにたんがからむことがありますか？	はい	3
		いいえ	0
6	朝起きてすぐにたんがからむことがありますか？	はい	0
		いいえ	3
7	喘鳴(ゼイゼイ、ヒューヒュー)がよくありますか？	いいえ、ありません	0
		時々、もしくはよくあります	4
8	今現在(もしくは今まで)アレルギーの症状はありますか？	はい	0
		いいえ	3



医療ソーシャルワーカーの仕事って？

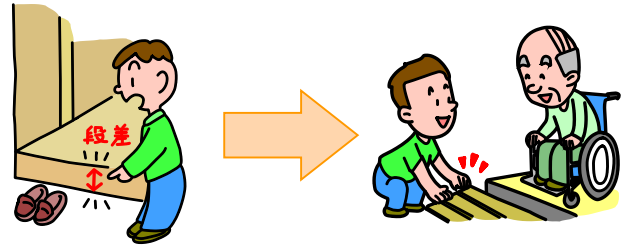
医療ソーシャルワーカー 赤坂 美幸



病気や怪我をすると、健康なときには思ってもいなかったような不安や心配ごとが出てきます。そんなときに患者さんやご家族の相談にのり、病気をきっかけに生じる生活上の問題について、問題解決の方法を

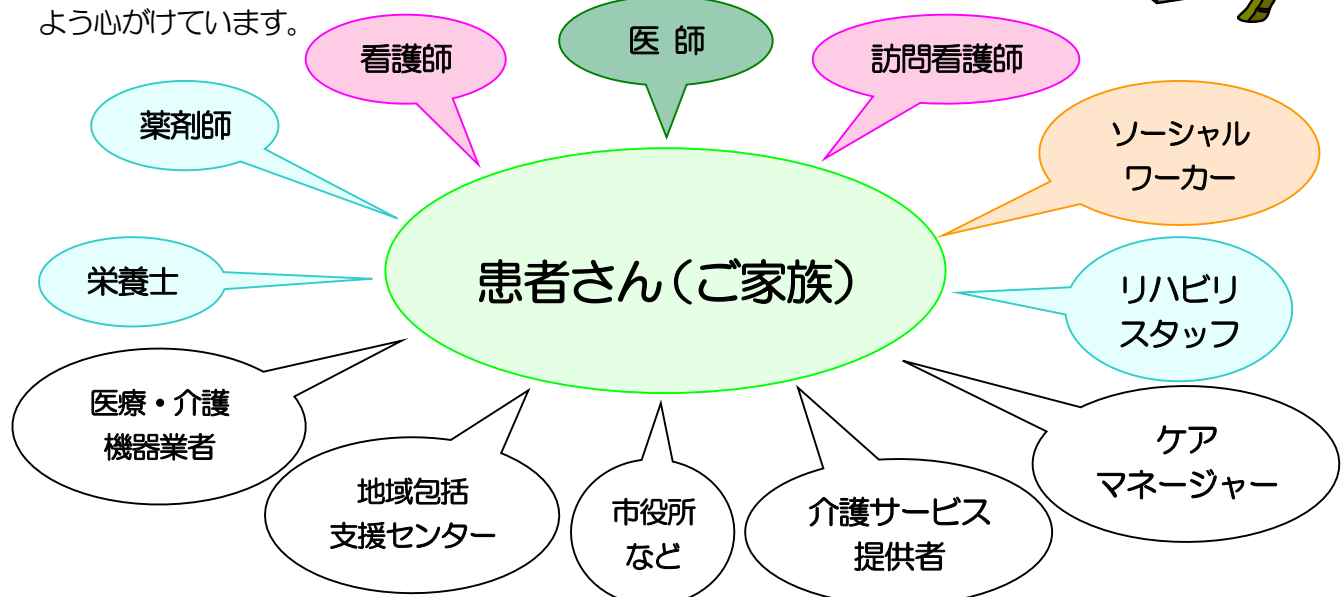
一緒に考えるのが私たち医療ソーシャルワーカー（医療福祉相談員）の仕事です。当院には3名の医療ソーシャルワーカーが常駐しており、入院、通院を問わず、患者さんやご家族の相談対応を行っています。相談内容は介護保険制度やサービス利用についての相談、医療費や生活費に関する経済的問題の相談、障害者福祉制度についての相談などさまざまです。

最近とくに多いのは介護に関する相談です。病気や怪我によって介護が必要な状態になったときには、介護保険という制度を利用することができます。医療ソーシャルワーカーは、要介護認定の申請手続きの支援や利用できる介護サービスの説明をしたり、ケアマネージャーや地域包括支援センターなどの関係機関と連絡調整を行ったりします。入院患者さんで自宅退院に向けて生活環境の調整が必要な方に関しては、多職種でご自宅を訪問し住宅改修の検討や福祉用具の選定を行うこともあります。「玄関のどこに手すりを設置すればよいか」「屋内の移動はどのような歩行器を使えばよいか」など実際に現場を見て検討し、患者さんを主体とした環境調整を行うよう心がけています。



また、必要に応じて患者さん、ご家族、ケアマネージャー、医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなどが集まって、退院後の生活について話し合う場を設けています。患者さんのご希望や心配ごと、今後利用するサービスの内容などを多職種で確認し合い、安心して在宅生活を送るためにはどうすればよいかを一緒に考え決めていきます。一方で、さまざまな事情で自宅退院が困難な方に対しては、転院先の医療機関や施設の紹介、施設入居の申込みの支援、転院受け入れの相談なども行っています。

医療ソーシャルワーカーへの相談をご希望の方は、担当の医師または看護師にお申し出いただくか、直接総合案内にお越しください。できれば事前にお電話でのご予約をお願いします。プライバシーはお守りしますので安心してご相談ください。患者さんが安心して療養でき、より良い社会生活を送れるよう支援させていただきます。



入院から退院後の生活までこのような人たちで支援しています

毎朝玄関や受付機の前に立っている職員は何をしているの？

まずは下の写真をご覧ください。これは朝の玄関前での風景です。玄関前で立っているのは当院の職員です。みなさんはこの職員が毎朝何をしているかご存知ですか？この職員は毎朝8時ごろから玄関に立っており、ボランティアをしているのです。どのようなボランティアかというと、車いすや手押し車などが必要な方への介助、自動車の誘導、ゴミ拾い、雪かきなどを行っています。



毎朝ボランティアをしているのは玄関前に立っている職員だけではありません。下の写真のように、再来受付機の前で立っている職員を見かけたことはありませんか？この職員は再来受付機の操作方法の説明や問い合わせへの対応をしています。



このように当院では職員が毎朝ボランティアをしています。玄関前の職員はスーツなので、見た目はちょっと怖く(?) 見えるかもしれませんが、何か困ったことがあればすぐに対応しますので、気軽に声をかけてください。

病院から二つのお願い

～敷地内全面禁煙のお願い～

当院では敷地内全面禁煙を実施しており、平日頃愛煙家のみなさんにご協力いただいているところで。しかし敷地内全面禁煙の実施から2年が経過しますが、歩きながらの喫煙やたばこのポイ捨てが後を絶ちません。そこで再度、愛煙家のみなさんへお願いです。患者さんや妊婦さん、お子さんへの受動喫煙を防止するためにも、敷地内での喫煙はご遠慮ください。

敷地内での喫煙を見かけた場合は、職員から声をかけさせていただいたり、敷地外へ移動していただく場合があります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

※ここで言う敷地内全面とは病院建物内だけではなく、玄関前ロータリーや駐車場など、当院の敷地すべてのことを指しています。



～貴重品についてのお願い～

傘立てに置いていた傘の紛失についての問い合わせをよくいただきます。傘に限った話ではありませんが、当院内での紛失や盗難について当院は責任を負いかねます。傘については玄関に傘を入れるためのビニール袋を用意しておりますので、そちらをご利用ください。また、貴重品や大切なものは常に持ち歩くようお願いします。

なお、長期間放置された傘は傘立てのスペース確保のため、偶数月に処理させていただいております。ご了承ください。



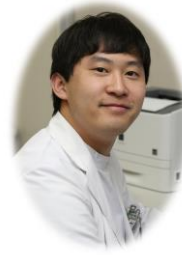
※上の写真の「傘ぼん」を使うと、傘がビニール袋に入ります。

4月からのニューフェイス

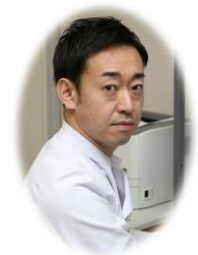
4月から着任した医師
5名を紹介します。



- ① うかわ のぶお
烏川 信雄
- ② 内科
- ③ 石川県
- ④ 珠洲の地域医療に貢献できるようがんばります。よろしくお願いします。



- ① てしま あきひろ
出島 彰宏
- ② 内科
- ③ 金沢市
- ④ 3月までは市立輪島病院に勤務していました。珠洲の皆様のお役に立てるようがんばりたいと思いますのでよろしくお願いします。



- ① はぎの しげた
萩野 茂太
- ② 外科
- ③ 富山県
- ④ 昨年度までは黒部市民病院に勤務していました。微力ながら珠洲の医療に貢献できたらと思いますのでよろしくお願いします。



- ① なかやま あきら
中山 啓
- ② 外科
- ③ 富山県
- ④ 昨年度は富山県立中央病院に勤務していました。一生懸命がんばりますのでよろしくお願いします。



- ① たきき ゆうこ
田崎 優子
- ② 小児科
- ③ 埼玉県
- ④ 3月まで公立能登総合病院に勤めていました。珠洲の子ども達が元気になれるようなお手伝いをさせてください。珠洲のことを色々教えてください。よろしくお願いします。

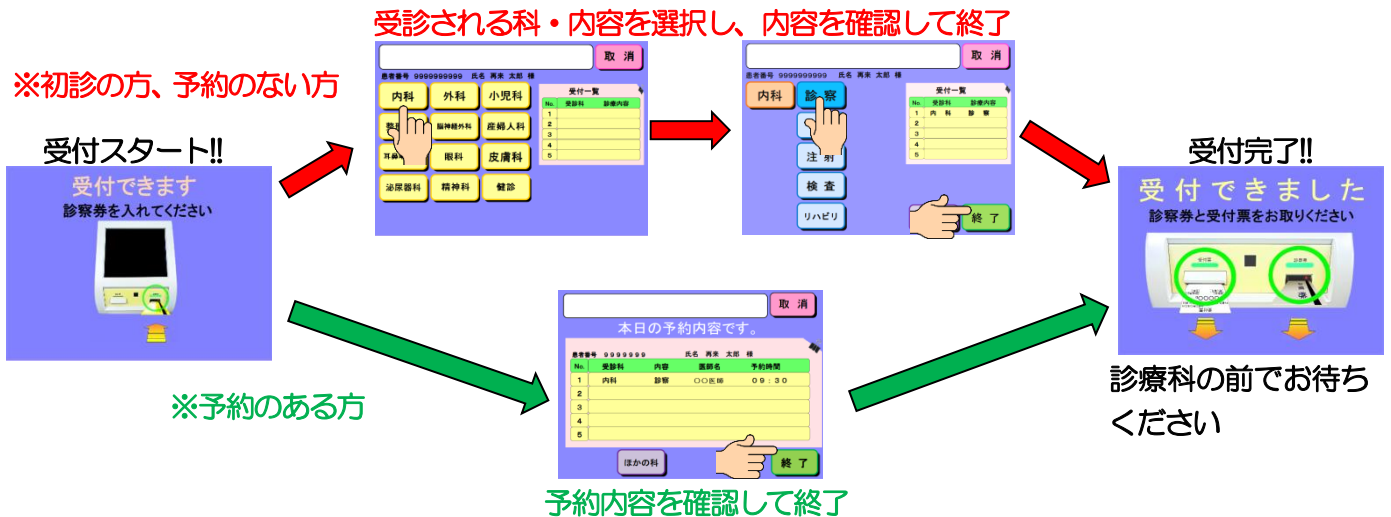


今年もニューフェイスが加わりました!!

看護師…谷内知子、坂本ひかる、干場麻友美、森口優、内山千鶴、理学療法士…奥野孝俊、東手純弥、臨床工学技士…島田徹、事務局主事補…坪井美誉子の9人です。

不慣れな点もあるかと思いますが、地域の皆さんにより一層安心と信頼を提供できるよう頑張ります!!

受付機操作手順



外来診療日程

平成27年4月1日現在

午前 受付時間 8:00~11:30 診療時間 9:00~12:30

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	波佐谷	川崎	波佐谷	循環器	波佐谷
	2 診	川崎	小泉	中島	出島	烏川
	3 診	出島	中島	小泉	烏川	川崎
外科	坂本 萩野 坂本 中山 萩野					
呼吸器外科	田村ほか					
小児科	和田	田崎				
耳鼻咽喉科	榎田	阿河/加納	榎田			
整形外科	大成・中西					
産婦人科	山城					
脳神経外科	浜田	会田/北林		浜田		
泌尿器科	月曜日診療 (月曜日が休日の場合、火曜日診療) 角野/泉/八重樫/町岡					
皮膚科	谷内	永岡		尾高 診療開始 10:00~		
精神科	西村		西村			
健診室	佐々木					

午後 受付時間 12:00~16:00 診療時間 14:00~17:00

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	佐々木	烏川	佐々木	小泉	小泉 (予約のみ)
	2 診	石崎				
小児科	予防接種	慢性疾患	健診・予防接種	予防接種		
耳鼻咽喉科	榎田					
眼科	馬渡		馬渡			
産婦人科	産後2週間健診	産後1か月健診		産後2週間健診		
禁煙外来 (産婦人科)	予約のみ					

小児科 (要予約)

- (月) 予防接種 14:30~
- (火) 慢性疾患 14:00~16:00
- (水) 健康診断 13:30~
予防接種 14:30~
- (金) 予防接種 14:30~

産婦人科 (要予約)

- (月) (木) 助産外来 10:30~午前中
- (月) (金) 産後2週間健診 14:00~
- (水) 産後1ヶ月健診 13:30~

その他

- (水) 糖尿病予防教室 14:00~15:00
- (月)~(金) 医療相談

※救急患者は、表示時間に関係なく診療いたします。

※表示日程は都合により、一部変更になる場合があります。

※眼科 (木) (金) 14:00~第2、第4木曜日を除きます。

※午後の初診の方は、できるだけ15:00までに受付をお願いします。

編集後記

今号から表紙の写真をキャノンフォトクラブ珠洲の会員の方々から提供していただくことになりました。キャノンフォトクラブ珠洲の会員の方々には厚く御礼申し上げます。表紙の素晴らしい写真に負けないよう、当院広報委員会は記事づくりに精進してまいります。 ジム(∇)!!

